



今号のトピックス～新年度始まる

オリエンテーション・総会・歓迎会

～ようこそ自然と文化科へ 退科のみなさまお元気で～

2025年度が始まり、4月4日オリエンテーションと総会、歓迎会が行われました。

2024年度末で4名の方が退科され、替わって7名の新しい仲間が加わりました。

(高槻城公園芸術文化劇場 太陽ファルマテックホール)

オリエンテーション



各委員会の活動紹介

新入科員の紹介

2025年度新入科員の紹介(7名)

(あいっしょお題)

梅谷 晴男(うめたに はるお)さん
大隅 由紀子(おおすみ ゆきこ)さん
竹尾 真(たけお まこと)さん
中井 とし子(なかい としこ)さん
松藤 操枝(まつふじ みさえ)さん
安田 弘行(やすだ ひろゆき)さん
山田 茂美(やまだ しげみ)さん



2024年度末で退科された科員4名

・堀川 豊司さん
・九津見 明さん
・渡邊 文子さん
・日下部 一一さん

2025年度から2班から4班に移られた科員

・大野眞理生さん

活動方針など質疑

①本日の出席者数 :83名
②委任状の提出数 :1名
③書面表決書の提出数:4名
①+②+③=88名
会員総数 :88名
自然と文化科規約第7条～8項に従って、
本総会は適法に成立しました。



歓迎会&懇親会 (コーラルキッチン高槻)



今年の新入科員はみなさん
寡黙でおとなしいという第
一印象だったのですが・・・

・・・なかなか

⇒[新人紹介コーナーへ](#)

- P1 今号のトピックス
P2 仲間たちの近況報告
1班 大庭 健
2班 竹尾 真
P3 私の玉手箱 後藤 銃吾
P4 高山植物ウォッチング 遊上 眞一
P6 絵画コーナー 藤川 宗昭
中山 勝一
P7 写真コーナー 中川 一成
P10 新人紹介コーナー
松藤 操枝 山田 茂美
竹尾 真 中井 とし子
大隅 由紀子 安田 弘行
梅谷 晴男
P11 俳句・川柳・短歌コーナー
山上 恵子 宮澤 富美雄

◇自然と文化だより◇

令和のコメ騒動

米櫃の底が見えろとなんとなく落ち着かないのは、ご先祖の不安が無意識の中に沁み込んでいるのか。しかし、唯一自給率100%と言われてきたコメが足りないとなると、これは現実的な食料安保上の不安になる。実質50年以上続けられてきた生産抑制政策や、コメ離れで米作り農家を立ち行かなくさせてきた私たち自身の暮らしぶりはどうだったのか。弥生時代初頭ころ始まり江戸時代に完成した水田耕作が、日本列島の水の理想的な循環システムを形作り、人と自然が調和した美しい風景と固有の文化を育んできたのだという。その原点を思い起こしたい。

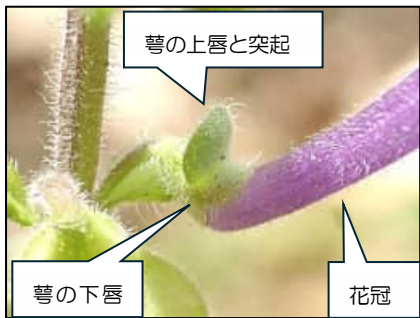
tsukashara



“ネット” サーフィン

1 班 大庭 健

調査グループの定点観察地枚岡公園でタツナミソウの花が見られました。前から気になっていた

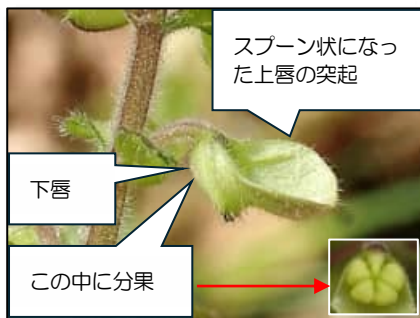


のですが、その萼の奇妙な形、どんな役割があるのか知りたくなってネットで調べてみました。

まず“タツナミソウ”で検索すると、「三河の植物観察」などでその構造については詳しい説明がありました。その意味について説明ありません。そこで“タツナミソウ萼の突起の意味”で検索したが、ぴったりのサイトがないな〜と順にみていると後ろの方で「森・樹・花・実の自然誌 コバノタツナミのみと種子散布」を発見。『タツナミソウ属は種子（正確には分果）を雨滴によって散布するとされている。ネコノメソウなどみずしづき型と違い、射出機型と呼ばれる仕組み』とあり、萼の構造がこれに適応しているとの説明があった。さらにこの根拠となる論文（英文）も紹介されていた。これを ChatGPT で翻訳、次に“タツナミ

ソウ種子散布”

で検索し見つけた『公園文化 Web』の記事も参考にすると、変わった萼の役割は【花後、萼



の上下唇が閉じ、スプーン形になった上唇の突起に雨滴が直撃すると、その衝撃で上唇は下唇から弾き飛ばされ、同時に下唇に収納された分果も散布される。(=射出型雨滴散布) のようだ。後日、雨の代わりに指でスプーンを弾いて見たが見事に上唇、分果が飛び散って、下唇だけが残った。

今回は次々と良い波に乗れ、楽しいサーフィンができたが、玉石混交、危険な波も多いようなので、十分注意をしながら、今後も植物観察と“ネット”サーフィンを愉しんでいきたい。

インゲンマメのつるの巻く方向について

2 班 竹尾 真

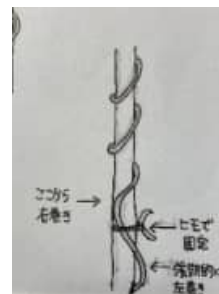
シニア自然大学校（本科）での植物観察でインゲンマメのつるが右巻きか左巻きかを調べた。インゲンマメは中央アメリカ（メキシコ）、南米アンデスが原産でヨーロッパから中国を経て日本へ渡来した。江戸時代、明から禅僧の隠元が持ち込んだことからインゲンマメと言われている。また、成長が早く 1 年に 3 度収穫出来ることから三度豆とも称されるそうである。

興味を持ったきっかけはネジバナの花の付き方は右巻きのものと左巻きのものがおよそ半々（15：16）であるのに対して、インゲンマメのつるはすべて右巻きであることに気が付いたからである。ただしここではつるの伸びる方向に対して時計回りを右巻きとした。



不思議に思ったので強制的につるを左巻きに固定しても、その先は右巻きになった。

この種だけがたまたま右巻きの



種類であったのかも知れないので、今年は別の種類のインゲンマメの種をまいてつるが伸びるのを待っている。また他の植物のつるは右巻きか左巻きか調べても面白そうなのでアサガオで観察しようと思う。その後、ヤマフジ（左巻き）とノダフジ（右巻き）の違いも教えてもらった。この場合はつるを上から見て左巻き、右巻きと言うそうだ。



きか調べても面白そうなのでアサガオで観察しようと思う。その後、ヤマフジ（左巻き）とノダフジ（右巻き）の違いも教えてもらった。この場合はつるを上から見て左巻き、右巻きと言うそうだ。

工作同好会

3 班 後藤 銃吾

旅行の行先でお土産物売りに立ち寄ることはよくある。お土産には特に興味はないが、民芸品やちょっとした飾り物などの展示には必ず足を運び何か良いものはないかと物色する。購入を目的にしているわけではなく、工作同好会で作る作品の参考にするためである。

工作同好会では1年に一度くらいは講師を担当している。次は何を造ろうかと絶えずアンテナをあげてネタ探しをしている。お土産物屋、インターネットその他いろいろなところから参考になりそうなものを探し出し、皆さんに楽しんでいただけるか、作るのに難しすぎないか、簡単になりすぎていないかななどを考慮しテーマを決める。

講師を担当し終わったら次のテーマが気になり、テーマを探し始める。次はこれにしようと決めるまでは落ち着かない。テーマを決めていても講師担当の3~4か月前になると構想通りうまく行くか心配で試作に入る。試作を繰り返し、改良して最終決定は本番直前になることもある。一月前くらいになると工作の時間内で完成できるようにあらかじめ下準備する部分と当日作業する部分に分けて、下準備分の作成に取り掛かる。

私の場合は工作のジャンルは問わない。これはおもしろそうだなと思ったらなんでもチャレンジする。それがまた楽しいのである。着想のきっかけとその作品をいくつか紹介しよう。

○ ジオラマ

観光地へ行くと地域の地形などの模型が飾られている。これを見てジオラマの製作を考えた。地形を考慮し、植樹し完成させた(図-1)。木も3種にし、単調になるのを防いだ。

○ 田舎の酒造店

山で檜皮を採取した。これで檜皮葺きの家の製作を考えた。実際に家を試作して見たが何の面白みもないので困ってしまった。そこで思いついたのが風景画の作成である。絵具を使うのではなく風景画の中に檜皮葺きの家を取り込み立体画にしたのである(図-2)。

○ 浮かぶ一輪挿し

磁石を決められた配置で下に敷くと、磁石の反発で別の磁石を宙に浮かせることができるというコンテツを SNS で見出し、これは面白いとおもい早速テストを繰り返し、いろいろ工夫したがついに実現せずタイムアウトになってしまった。しかしなにかは作らなければならないので仕方なく花瓶を作成し、磁石の反発で浮かせ、浮かぶ一輪挿しを作製した(図-3)。当初の思い通りにいかなかった失敗例である。

○ 回る行燈

百均で買える LED ランプを使用して回る行燈が作れるという友人の話を聞きこれは面白いと取りかかった。

柱を丸棒にし、四面に絵を貼り付け面白い作品が出来上がった(図-4)。これは成功例である。

誌面の都合でこれ以上は紹介できないが、様々な着想をもとにジャンルの異なる作品を造り、会員の皆様に提供した。着想から試作を通じて色々と苦労したのが楽しい思い出になっている。



図-1



図-2



図-3



図-4

今回は 夏山シーズンをまえに 高い山に可憐に咲く 高山植物を特集しました



イワツメクサ (西穂独標)



ウルップソウ (ハヶ岳)



オオヒヨウタンボク (西穂山荘)



キタザワブシ (聖岳)



キタダケソウ (北岳)



キヌガサソウ (西穂山荘)



クルマバツクバネソウ (天生)



クロユリ (白山)



コイワカガミ (九重連山)



ゴゼンタチバナ (小池新道)



コマクサ (燕岳)



センジュガンピ (常念岳)



タカネマツムシソウ（聖平）



タカネヤハズハハコ（黒部五郎岳）



チシマフウロ（斜里岳）



チョウノスケソウ（北岳）



ツマトリソウ（池ノ平）



ハクサンイチゲ（北岳）



ハクサンシャジン（森吉山）



ハクサンチドリ（仙丈ヶ岳）



ミドリニリンソウ（天生）



ミヤマオダマキ（北岳）



ミヤマシオガマ（北岳）



ヨツバシオガマ（白山）

万博公園バラ園

1班 藤川 宗昭



中山寺青龍塔

八軒屋浜

2班 中山 勝一



写真コーナー

3班 中川 一成



遠 映 の 柿

宇治市高雄 2018.12



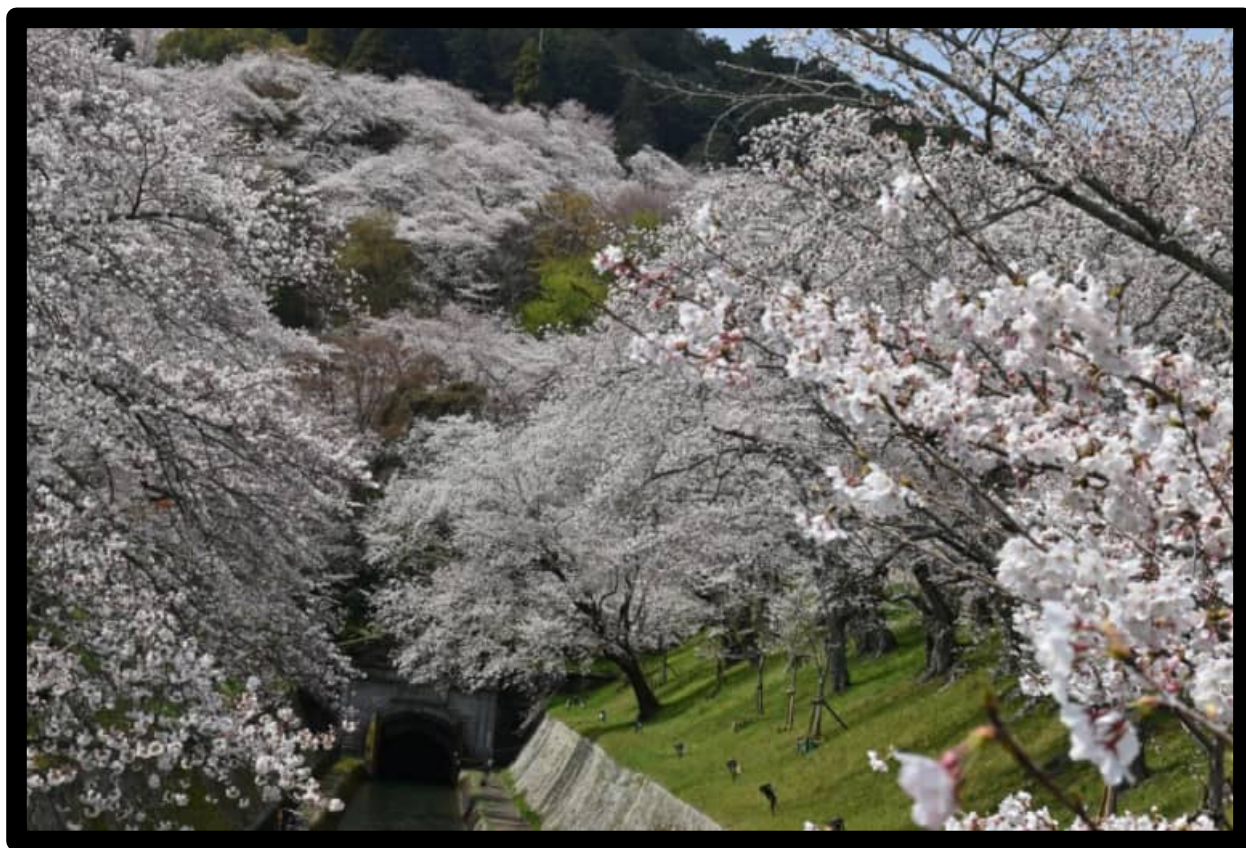
積 雪 の 風 景

金沢市 兼六園 2011.12



紅 色 に 映 え る 白 梅 花

枚方市 山田池公園
2025.03



疎 水 の 乱 舞 桜

三井寺近くの琵琶湖疎水(奥/疎水トンネル)
2025.04



Σ 軸 の 満 開

兵庫県ワワ-センター 加西市 2025.05



乙 女 の 世 界

伊 ドロミテ ソラピス湖 2018.06

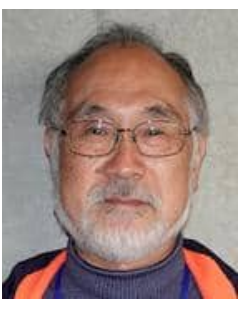


白い坂から眺める巨岩

伊 ドロミテ RIFUGIO LAVAREDO 2018.07

新人紹介コーナー

①：氏名 ②：所属 ③：講座生の期 組
④：住所 ⑤：他の所属 ⑥自己紹介

	①：松藤 操枝 ②：1 班 ③：31 期シニア金曜コース ④：大阪市 ⑤：長居風と緑の会		①：山田 茂美 ②：1 班・副班長 ③：30 期 金曜コース ④：大阪市 ⑤：ネイチャー学志山歩会 菌類研究会
⑥ 自然観察と文化施設の見学に興味があります。全く知らないことの方が多いのでこれから学んでいきたいと思っています。		⑥ 自然には驚き、感動、喜び、安らぎ、謙虚などあらゆることがある。それを求めて入りました。	
	①：竹尾 真 ②：2 班・副班長 ③：31 期金曜コース ④：高槻市 ⑤：所属なし		①：中井 とし子 ②：2 班・副班長 ③：31 期金曜コース ④：寝屋川市 ⑤：なし
⑥ 昨年リタイアしてゆっくり過ごした。今年も引きこもりにならない程度に外に出るのがのんびり生きて行きたい。		⑥ 植物が好きで、その奥深さを感じるとともにパワーを頂いています。これからどんな植物に出会えるのか楽しみにしています。よろしくお願いいたします。	
	①：大隅 由紀子 ②：3 班・副班長 ③：31 期金曜コース ④：大阪市 ⑤：長居学遊クラブ		①：安田 弘行 ②：3 班・副班長 ③：30 期金曜コース ④：奈良県葛城市 ⑤：なし
⑥ 自然の仕組みを知り、観察する目を養いたいです。宜しくお願いします。		⑥ 出身：天下茶屋 居住歴：東灘魚崎 守口 長岡京 寝屋川 伏見 枚方 春日井 茨木 千葉市 川 江戸川葛西 博多区 鳴野 愛知清須 好きな事：理科 仏教 歴史 山歩き カラオケ	
	①：梅谷 晴男 ウメタニ ハルオ ②：4 班・副班長 ③：本科 31 期 金曜コース ④：大阪市阿倍野区 ⑤：この指たかれ 京とおおみ自然文化クラブ 風と緑の会(長居学遊クラブ)		
⑥ 旅行、お城、神社仏閣、博物館巡り 日本 100 名城達成、続日本 100 名城 60 城、全国一宮 90、四国 88 力寺達成、西国三十三所達成等		⇒表紙に戻る	

2班 山上恵子

俳句

- ・内外の温度差涼し夏座敷
- ・クーラーをつけっぱなしという一日
- ・忘れ去る事も涼気の一つなる

川柳

- ・終戦日控えて急にます戦話
- ・騙されてでも信じたい停戦を
- ・停戦を信じて良いのねトランプさん

短歌

- ・ふり向けば如何に遠き事にして誇れるものは日本国憲法
- ・敗戦の節目の年の八十年沖縄の子の命の詩聞く
- ・束になりよちよちついて行く小鴨夏の稲田の有機農法

3班 宮澤 富美雄

川柳

- ・寝るならば家がいいのに講演会
- ・飲み代と薬代とが逆転し
- ・暖かい孫のもみじに癒される
- ・妻が留守うれしかったは3日だけ
- ・ゆったりと歩く京都に恋の跡



イラスト協力 AI (ChatGPT 使用)

65号は本年度編集方針変更後初めての号です。

投稿依頼に快く応じていただいたみなさまありがとうございました。

原稿作成の負担軽減を図り、文章が大幅に減った結果、ビジュアルが多くを占めるようになりました。

こうなると、改めて印刷物の配布形式をベースにした機関紙「自然と文化だより」の存在意義が問われます。ホームページの皆の広場や掲示板の活用、あるいはコーナーの新設で事足りるのではないかとということです。

引き続き皆様のご意見をお寄せください。⇒ tsukasha@mac.com

広報委員会